令和５年度　研究構想図

名取市立館腰小学校

学校教育目標
心身ともにしなやかで、自ら学ぶ児童の育成

目指す児童像

○たくましく(体)　○かしこく（知）　○むつまじく（徳）

今日的な課題から

児童の実態から

教師の願いから

研究主題
国語科の読む力・考えを表現する力の育成

ー説明的な文章指導を通してー

（１年次／２年計画）

研究目標
説明的な文章指導を通して「国語科の読む力・考えを表現する力」を育成するためには、どのような工夫があるのか、授業実践等を通して明らかにしていく。

研究の視点と手立て
視点１「読む力」を高める指導の工夫

① 内容を捉えさせるための工夫

② 書き手の最も伝えたいことを見付けるための工夫

視点２「考えを表現する力」を高めるための指導の工夫

① 課題を明確にした学び合いの工夫

② 考えを深めさせるための学び合いの工夫

③ 知識や経験（体験）と結び付ける工夫

基本の学習スタイル
考えの形成 → 共有 → 個に戻す → 考えの形成

各学年部で目指す児童像

＜低学年部＞

〔読む力〕

目的に応じて必要な情報を見付けながら文章の大体を理解することができる児童

〔考えを表現する力〕

感じたことや分かったことを共有しながら、互いに分かち合い、認め合うことができる児童

＜中学年部＞

〔読む力〕

目的に応じて必要な情報を見付けながら文章を読むことができる児童

〔考えを表現する力〕

理解したことに基づいて、感想や考えを共有することで、一人一人の感じ方などに違いがあることや、それぞれのよさに気付くことができる児童

＜高学年部＞

〔読む力〕

目的に応じて必要な情報を見付けながら文章を読むことができる児童

〔考えを表現する力〕

理解したことに基づいて、自分の考えをまとめ、それを共有することで、自分の考えを広げることができる児童

＜特別支援部＞

自分の思いや考えをもち、適切に表現する児童

研究の具体的な方法
- 各学年による授業研究及び日常的な実践授業
- 学力調査（初見説明文テスト）や児童へのアンケート（意識調査）の結果分析による児童の実態と変容の把握
- 国語科の指導法や学び合いに関する理論研修
- 家庭学習など日常的・継続的な基礎学力づくりにつながる指導の工夫

＜各学年部＞　＜研究推進委員会＞　＜研究全体会＞